

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 1月10日(日) 13:00~14:30

2月7日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

第55回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「10倍楽しむ池の鳥」

~エサやりのない池は面白い!~

日時 1月17日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

野鳥観察会

主催 花と緑のまち三鷹創造協会

日時 1月21日(木) 9:00~12:00

集合 都立野川公園正門前

対象 特になし

定員 30名(先着順) 参加費 無料

編集後記

上連雀一丁目の篠田柳治さんは、自宅近くの玉川上水べりの道路約100mを、長年毎朝清掃をしておられます。そのことを本誌第14号で紹介しましたところ、その記事をきっかけに、篠田さんが、日本善行会から表彰されました。本誌がお役にたてて大変うれしいことです。(安達)

申込・問合せ 花と緑のまち三鷹創造協会

0422-45-8351

シジュウカラの巣箱配布

主催 花と緑のまち三鷹創造協会

日時 1月27日(水) 9:00~16:00

場所 三鷹市暫定管理地(東京多摩青果跡地)事務所棟1階

対象 特になし

定員 200名(多数の場合は抽選)

料金 無料

申込先 花と緑のまち三鷹創造協会

往復はがきに住所、氏名、電話番号、巣箱希望と書いて1月15日必着。

問合せ 0422-45-8351

不用になったハンカチから巾着袋作り

主催 ごみ対策課

日時 1月27日(水) 13:00~15:00

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 8名(多数の場合は抽選)

料金 無料

申込 往復はがきで1月15日(金)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2535

発行: みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第20号

2010年1月1日発行

さらなる環境保全の活動を ~ 6月「みたか環境フェスタ2010」の企画 ~

昨秋、鳩山首相は国連でわが国のCO2排出量を2020年までに1990年度比25%削減すると報告し、温暖化防止対策で、わが国が世界のイニシアティブをとることを表明しました。私たちもいよいよ自然環境保全を身近な問題として取り組む必要を感じます。

「みたか環境活動推進会議」は2007年8月発足以来、市の「環境基本計画(改定)」に基づいて、環境保全の取り組みの一端として計画の推進に必要な環境情報の収集・提供・交換をすすめてきました。本年も引き続き、ニュースレター「みたか環境ひろば(月刊)」の発行、「環境懇談会」の開催を続け、さらに基本計画に盛り込まれた学習など「環境意欲増進策」のほか、「CO2排出量削減策」および緑地保全、緑化など「快適環境空間創造策」の各項の推進について検討を進めます。

本年は新たに6月の環境月間行事として、一昨年から開催している「エコミュージカル」を含めた「みたか環境フェスタ2010」を、三鷹市制施行60周年行事のひとつとして企画しました。このイベントの目的は、市民、事業者、市(行政)の環境活動が一堂に会し、次世代に残す



三鷹図書館前花壇の福寿草

みどり豊かな環境を市民全員が考える場を提供することです。推進会議では、昨秋からこのイベントの準備を始めており、ここに幼い子供たちを含む多数の市民のみなさんが積極的に参加することを希望しています。

2009年の世相を表す漢字に「新」が選ばれました。新型インフルエンザや新政権の「新」が、単に、思わぬ「新」でなく、新年に期待の「新」でありたいものです。現在、身近な市域の失われがちなみどりを保全するために、行政と市民が協働して活動に取り組んでいます。

新年を迎えて、「水とみどり豊かな三鷹」をめざし、新たに「快適な環境のまちづくり」をすすめていきたいと考えます。(山口)

羽沢小学校4年生の「環境」学習

～野川の自然を守るために何が出来るかを考える～

おおさわ学園羽沢小学校では、自分たちが生活している地域のよさに気づき、地域とのかかわりあいのなかで、ふるさとに誇りをもち、ふるさとが大好きな子どもたちを育成する学習を進めています。本年度、総合的学習の時間に、4年生の児童たちは「野川や大沢の自然を守るためにどのようなことが出来るか」を考え、実行することにしました。「野川クリーンアップ会社」を作り、10のグループに分かれて、その活動を行っています。野川清掃、水質調査、湧水調査、水質浄化、廃油リサイクル、外来植物の除草、パンフレット・ポスター・看板・ホームページ・ビデオの作成、野川の歌を作るなど、10種の活動をおこなっています。

11月10日、4年生の児童たちは、野川で外来植物の除草とゴミ拾いをしました。学校の横の大沢橋から、上流の飛橋付近までが、その日の活動範囲でした。アレチウリ、オオブタクサ、オオフサモなどの外来植物の除草をし、また、空き缶、ペットボトル、ビニール、傘、雑誌など雑多なゴミをたくさん拾い集めました。

11月13日には、第7中学校崖下の湧水の観察をしました。湧水量、水温を測り、サワガニやカワニナを見ることができました。また、廃油でリサ



地域の人々と一緒に外来植物の除草をしました



活動報告会の様子

イクルのろうそくを作りました。野川の歌、パンフレット、ポスター、看板、ビデオ、ホームページも作りました。

「Yes, We can. やれば出来る」ことを学習しています。「野川」や自然を守る活動を進めてきた地域の人々と一緒に、子どもたちは、その活動を広げたいとの思いのようでした。（安達）

ユニークな雨水タンク

晴天が続くと雨降りが待たれます。雨は街を潤し多くの生き物や植物を生き生きとさせます。その雨水を溜めるユニークな雨水タンクを、深大寺3丁目の鎌田工業所の鎌田芳久さんが作りました。

直径9cmの塩化ビニールの管を家の周りの柵や外階段の手すりにして、下の方に蛇口を付けたものが雨水タンクになっています。ドラム缶型や、箱型のもので違い、場所を取りません、設置場所に合わせて色々な形や大きさに作ることが出来ます。

写真の玄関前の柵や、階段の手すりはどちらも30リットルの雨水を溜めることが出来ます。家の外壁など、多くの



玄関前の柵の一部となった雨水タンク

塩化ビニール管を組める所には多くの雨水を溜めることが出来ます。溜めた雨水は打ち水や、植木の水やりなど水道水ではなくても良いものに使えます。

雨水も大切な資源です。工夫次第で、水の節約になります。（森）

市役所の窓：我が家の省エネ

私の父親は環境問題の研究者（専門は大気環境工学）をしています。今では、社会問題となって様々な分野で注目をされている環境問題ですが、当時は環境問題を志す人は稀だったようで、まさに炯眼の士であったと思います。一方、我が家では難しい理論的な取り組みは父親に任せてごみの分別や節電など身の回りでできることから省エネやエコを心掛けています。

その中で、我が家の台所では、調理用具を工夫して省エネにつなげています。我が家ではステンレス5層構造のお鍋や

フライパンを使って光熱費が少なくなるようにしています。ステンレス素材が5層、7層くらいになりますと弱火や余熱で十分調理できます。例えばスパゲッティをゆでる時一度沸騰させれば後は火を消して余熱で茹で上がります。毎日使うものですのでトータル的に見ればかなり省エネになっていると思います。いまは9層構造のものもあるみたいですが、お鍋やフライパンを買う時に何層ですか？と尋ねていただければ教えてくれると思いますのでぜひ聞いてみてください。

社会福祉協議会 市川 裕一